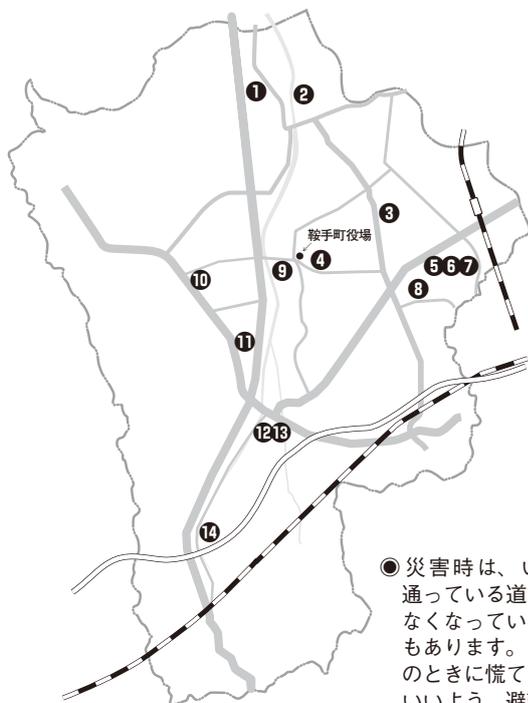


町内にある 14 か所の避難所



●災害時は、いつも通っている道が通れなくなっていることもあります。もしものときに慌てなくていいよう、避難所までの別の道も確認しておきましょう。

もしものときのために、鞍手町では公共施設や町立の学校を避難所に指定しています。自分が住んでいる地域の避難所を確かめて、非常時には速やかに避難できるようにしておきましょう。また、避難のときは、近所で独り暮らしのお年寄りや体が不自由な人などにも声をかけ、地域で助け合うようにしましょう。町内の避難所は次のとおりです。必ず、自宅近くの避難所を確認しておいてください。

古月地区	
① 豊翔館（旧鞍手分校）	② 古月小学校
剣地区	西川地区
③ 鞍手北中学校	⑨ 舟川隣保館
④ 剣北小学校	⑩ 新延小学校
⑤ 鞍手町中央公民館	⑪ 鞍手町総合福祉センター
⑥ 鞍手町立体育館	⑫ 鞍手南中学校
⑦ 鞍手町立武道館	⑬ 西川小学校
⑧ 剣南小学校	⑭ 室木小学校

防災や気象についての情報をメールで配信

チェックすること

天気予報

警報や注意報

空の状態

川の状態

こんなときは要注意

「大気の状態が不安定」、「雷」、「天気の急変」などの表現があるとき

雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき

「急に真っ黒な雲が近づいてきた」、「雷鳴が聞こえる」、「稲光が見えた」とき

「水かさが増えてきた」、「にごってきた」、「流木や落ち葉が流れてきた」とき



災害から身を守る

災害はいつ起こるかわかりません。大雨や台風、地震などによる自然災害には、日ごろからの準備が大切です。最近は気象情報の精度が高まっていることに加え、テレビ、携帯電話、インターネットなどから簡単に情報を入手することができます。非常時に慌てないためにも、日ごろから自然災害への備えを心がけましょう。

遠賀川流域の雨量の情報や河川の水位、河川画像などの情報を入手することができます。

▶遠賀川河川事務所のホームページでリアルタイムな情報を!!
ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

▶遠賀川の防災情報を携帯サイトで!!
携帯 http://www2.ocn.ne.jp/~onga/mobile_cctv/

●問い合わせ 国土交通省遠賀川河川事務所 ☎22局1830番まで

気象情報、防災・安全情報、安否確認メールの情報を入手することができます。

▶防災メール・まもるくんの詳しい情報
ホームページ <http://www.bousai.pref.fukuoka.jp>

▶防災メール・まもるくんへの登録
携帯 <http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp>

●問い合わせ 福岡県総務部消防防災課
☎(092)651局1111番(県庁代表)まで



まもるくんQRコード



▶懐中電灯 停電時や夜間の避難時に必要。予備の電池も忘れずに。



▶ヘルメット(防災ずきん) 落下物や飛来物、転倒事故から頭を守ります。



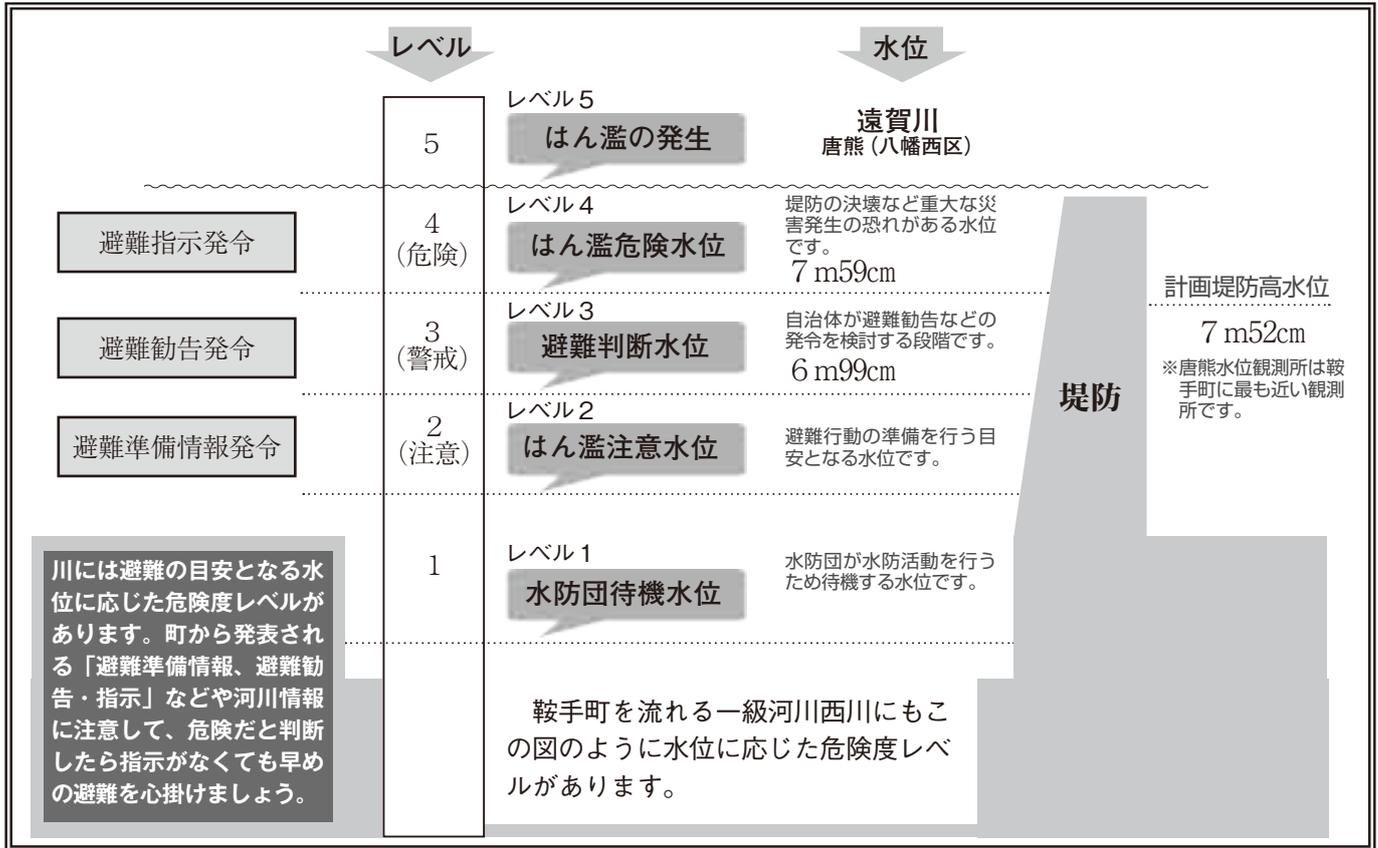
▶救急薬品 ばんそうこうや消毒液などちょっとしたケガのために。常備薬がある場合は一緒に用意しておきましょう。



▶その他 現金やライター、身分証明書のコピー、軍手、衣類があると便利です。避難時にも役立ちます。

水位に応じた
**危険度
レベル**

町では、避難判断水位及びはん濫危険水位に到達の可能性がある場合は状況に応じ、避難勧告または避難指示を発令します。発令の際は役場広報車及び消防団による広報巡回を行います。



近年、毎年のように台風や集中豪雨による被害が発生しています。しかし、地震と違い台風や風水害はある程度発生を予測することができます。しかし、土砂災害は突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして生命や財産を奪ってしまいます。土砂災害を予測するのは難しいですが、前兆現象が見られる場合があります。次のような現象を確認した場合は早めに避難しましょう。

**土砂災害
から
身を守る**

土砂災害は次の3種類に分けられます。次のような現象を確認した場合は早めの避難をしましょう。

- がけ崩れ
 - ・がけからの水がにごる
 - ・地下水やわき水が止まる
 - ・斜面のひび割れ、変形がある
 - ・小石が落ちてくる
 - ・がけから音がする
 - ・異様な匂いがする
- 土石流
 - ・山鳴りがする
 - ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
 - ・川の水がにごったり、流木が混ざる
- 地すべり
 - ・地面にひび割れができる
 - ・井戸や沢の水がにごる
 - ・がけや斜面から水が噴き出す
 - ・家やよう壁に亀裂が入る
 - ・家やよう壁、樹木、電柱が傾く

いざというときのために実際に災害が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや避難場所、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。

次のポイントをおさえておきましょう

①住んでいる場所が土砂災害の被害を受けやすい場所かを確認。

造成地、扇状地、山岳地帯の確認をする。

②土砂災害警報情報に注意。

福岡県の土砂災害危険度情報を確認。
ホームページ <http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp>

③日ごろからの備えが大切。

避難場所や避難の道順を決めておく。

④危険を感じたら早めの避難を。

広報車の呼びかけに注意する。

高齢者など災害時要援護者は早めに避難。

これだけは
そろえておきたい
防災グッズ



▶飲料水 水道が止まったときのために備えましょう。ペットボトル入りのものが持ち運びにも便利です。



▶非常食 調理せずに食べられるものを。賞味期限があるので定期的な交換が必要です。



▶携帯ラジオ 停電時の情報収集に必要です。AMとFMの両方を聞けるものが便利。予備の電池も忘れずに。